



2020年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月11日

上場会社名 株式会社 長大

上場取引所 東

コード番号 9624 URL <https://www.chodai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永冶 泰司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員経営企画本部長 (氏名) 塩釜 浩之

TEL 03-3639-3301

四半期報告書提出予定日 2020年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第3四半期の連結業績(2019年10月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	21,773	6.9	2,742	21.2	2,775	26.6	1,761	25.7
2019年9月期第3四半期	20,364	7.2	2,262	12.4	2,191	14.3	1,401	11.5

(注) 包括利益 2020年9月期第3四半期 1,747百万円 (30.7%) 2019年9月期第3四半期 1,336百万円 (17.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	198.77	
2019年9月期第3四半期	160.00	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第3四半期	28,317	15,858	55.7
2019年9月期	25,172	14,548	57.4

(参考) 自己資本 2020年9月期第3四半期 15,774百万円 2019年9月期 14,459百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期		0.00		53.00	53.00
2020年9月期		0.00			
2020年9月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,400	4.8	1,980	31.8	1,990	30.7	1,210	34.9	136.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期3Q	9,416,000 株	2019年9月期	9,416,000 株
期末自己株式数	2020年9月期3Q	522,505 株	2019年9月期	596,005 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期3Q	8,860,135 株	2019年9月期3Q	8,757,755 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
3. その他	8
受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、第2四半期連結累計期間に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大に伴う世界規模的な経済への影響により、各国において経済見通しの大幅な下方修正が続いています。我が国経済においても同様に、新型コロナウイルス感染症の影響による貿易、人的交流、インバウンド需要や国内サービス消費の激減、また国内企業の設備投資控えなど、深刻な影響が出ています。

一方、当社グループを取り巻く建設コンサルタント業界の市場環境は、令和元年度公共事業関係費に補正予算として約1.6兆円が計上され、ここ数年安定的に確保されるなど、比較的堅調に推移しています。これらを受け主に公共事業に携わる建設コンサルタント業界においては、現在のところ受注量の落ち込みなど顕著な影響は出ておりませんが、今後国内設備投資や海外インフラ整備需要の落ち込みが予想される中、先行きは不透明な状況となりつつあります。

そのような中、当社グループは、第53期（当期）からグループの長期経営計画である「長期経営ビジョン2030」（2019年10月～2031年9月）と、その第一ステージとしての中期経営計画である「持続成長プラン2019」（2019年10月～2022年9月）を共にスタートしました。当期は中期経営計画の基本方針である基幹事業の強化と新たな成長の基盤づくりを積極的に推進しております。

当第3四半期連結累計期間における当社グループ全体の業績といたしましては、受注高は、防災・減災に向けた国土強靱化への備えや、インフラの維持管理、長寿命化、またICTの活用による建設産業全体の効率化、活性化の環境下にて、前年同四半期連結累計期間比11.9%増加となる258億67百万円となりました。

売上高は前年同四半期連結累計期間比6.9%増加となる217億73百万円となりました。当社グループの売上高は、受注の大半が官需という特性により、第2四半期以降に偏る傾向があり、当第3四半期連結累計期間の売上高217億73百万円（第1四半期連結累計期間：29億6百万円、第2四半期連結累計期間：159億30百万円）は、通期予想売上高304億円に対して71.6%の達成度（第1四半期連結累計期間：9.6%、第2四半期連結累計期間：52.4%）になっています。また、売上原価は前年同四半期連結累計期間比5.4%増加となる143億12百万円となりました。

販売費及び一般管理費は、人員の増強等により、前年同四半期連結累計期間比4.5%増加となる47億18百万円となりました。

以上の結果、営業利益は27億42百万円（前年同四半期連結累計期間比21.2%増）、経常利益は27億75百万円（前年同四半期連結累計期間比26.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億61百万円（前年同四半期連結累計期間比25.7%増）となりました。

セグメントごとの概況は次のとおりであります。

〔コンサルタント事業〕

構造事業では、主軸である橋梁設計や老朽化対策等に取り組みました。また、特許を取得しました橋梁点検ロボットの点検業務における活用や新たな橋梁モニタリングシステムの開発等を進めております。社会基盤事業では、道路構造物の維持管理や道路管理DB構築、交通需要予測や事業評価業務等の従来業務の他、新たな交通拠点整備事業としてバスタプロジェクト等にも積極的に取り組みました。社会創生事業では、基幹である環境事業や、建築計画・設計等のまちづくり事業に取り組み、未来都市を実現する内閣府主催「スーパーシティ・オープンラボ」にも加入しました。海外事業では、橋梁設計、施工管理業務の他、鉄道関連の設計業務にも取り組みました。

以上の結果、受注高251億89百万円（前年同四半期連結累計期間比12.4%増）、売上高214億20百万円（前年同四半期連結累計期間比7.7%増）となりました。

〔サービスプロバイダ事業〕

国内における、学校給食センターや斎場、道の駅等のPPP/PFI事業を中心に、地域創生事業に積極的に取り組み、「大分県別府市鉄輪（かんなわ）地獄地帯公園Park-PFI」へも参画しました。また、フィリピン国ミンダオ島における「カラガ地域総合地域経済開発プロジェクト」についても着実に進展し、関連する技術コンサルティング等を推進しているほか、ラオス国においても現地企業と共同でのインフラプロジェクトを開始しております。

以上の結果、受注高2億69百万円（前年同四半期連結累計期間比37.1%減）、売上高1億65百万円（前年同四半期連結累計期間比42.9%減）となりました。

〔プロダクツ事業〕

主軸となる型枠リースシステムは、従来のコンクリート型枠を使用した際に発生する廃材を循環高資材への転換を図ることで削減提案する商品であり、SDGsに対応し、継続的に顧客にご使用頂いております。

以上の結果、受注高4億8百万円（前年同四半期連結累計期間比44.1%増）、売上高1億87百万円（前年同四半期連結累計期間比2.6%増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響により、一部の契約業務において完成時期が先送りとなるものが発生しておりますが、件数、金額共に業績に与える影響は軽微であると想定しております。今後の経過によっては、業績に影響を与える可能性があります。当第3四半期連結累計期間の営業成績が通期の予想に対し順調に推移していること等から、現時点では2019年11月14日に公表した連結業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,601	10,401
受取手形及び完成業務未収入金	5,604	2,615
未成業務支出金	5,967	7,123
原材料及び貯蔵品	23	20
その他	213	542
貸倒引当金	△47	△16
流動資産合計	17,362	20,687
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,397	1,332
土地	2,026	2,026
リース資産（純額）	30	20
その他（純額）	343	354
有形固定資産合計	3,797	3,734
無形固定資産		
その他	232	228
無形固定資産合計	232	228
投資その他の資産		
投資有価証券	658	612
差入保証金	545	578
保険積立金	617	618
繰延税金資産	1,469	1,205
その他	489	651
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,779	3,666
固定資産合計	7,809	7,629
資産合計	25,172	28,317

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
業務未払金	1,449	1,001
1年内返済予定の長期借入金	100	79
リース債務	22	13
未払法人税等	584	363
未払消費税等	371	244
未払費用	1,192	1,291
未成業務受入金	3,313	6,237
賞与引当金	785	157
役員賞与引当金	24	—
受注損失引当金	197	115
その他	357	625
流動負債合計	8,399	10,130
固定負債		
長期借入金	177	136
リース債務	10	8
退職給付に係る負債	2,028	2,124
その他	7	57
固定負債合計	2,224	2,327
負債合計	10,623	12,458
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,107	3,107
資本剰余金	5,012	5,012
利益剰余金	6,656	7,925
自己株式	△392	△336
株主資本合計	14,383	15,709
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44	42
為替換算調整勘定	8	4
退職給付に係る調整累計額	22	18
その他の包括利益累計額合計	75	65
非支配株主持分	89	84
純資産合計	14,548	15,858
負債純資産合計	25,172	28,317

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
売上高	20,364	21,773
売上原価	13,585	14,312
売上総利益	6,779	7,460
販売費及び一般管理費	4,517	4,718
営業利益	2,262	2,742
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	9	9
受取家賃	11	13
受取補償金	—	30
雑収入	30	22
営業外収益合計	53	76
営業外費用		
支払利息	37	18
為替差損	84	21
雑損失	2	3
営業外費用合計	123	43
経常利益	2,191	2,775
特別損失		
固定資産除却損	—	7
投資有価証券売却損	—	10
投資有価証券評価損	—	17
特別損失合計	—	36
税金等調整前四半期純利益	2,191	2,738
法人税、住民税及び事業税	424	713
法人税等調整額	371	265
法人税等合計	795	978
四半期純利益	1,396	1,759
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,401	1,761

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	1,396	1,759
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△53	△2
為替換算調整勘定	0	△5
退職給付に係る調整額	△6	△4
その他の包括利益合計	△59	△12
四半期包括利益	1,336	1,747
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,341	1,750
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

3. その他

受注及び販売の状況

(1) 受注状況

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	前年同四半期比 (%)	受注残高	前年同四半期比 (%)
コンサルタント事業	25,189	112.4	25,689	108.5
サービスプロバイダ事業	269	62.9	941	95.4
プロダクツ事業	408	144.1	822	123.8
合計	25,867	111.9	27,453	108.4

(注) 金額は販売価格によっており、消費税等が含まれておりません。

(2) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	前年同四半期比 (%)
コンサルタント事業	21,420	107.7
サービスプロバイダ事業	165	57.1
プロダクツ事業	187	102.6
合計	21,773	106.9

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. セグメント間の取引については相殺消去しております。